

【緑地を楽しむ本】

『木はおどろきでいっぱい』

ニコラ・デイビス文 ローナ・スコビー絵 桑田健訳 高部圭司 監修
化学同人



西緑地には木が沢山ある。
何の木がそれぞれ何本くらいあるのだろう。

細かなことはともかく
私たちは木を見るとホッと
する。

でも、木はそんなことで
は済まない、大きな大きな
ものを私たちに与えてくれ
ている。

この本は、まずその大きさに圧倒される。縦
35 cm、横 29 cm、重さ 1 kgもあるのだから。そ
して、どのページもたくさんの木や、それにま
つわる昆虫、鳥、哺乳類などであふれている、
色彩が美しいとても楽しい本だ。自分が

本の中に入ったかのような錯覚を覚える。

地球の（陸地の？）1/3 は木でおおわれて
いるという。木は私たちに空気や水や、家を建
てるための木材や、食べるための果物などを与
えてくれる。

木は1本1本が一つの世界を作り、様々な
動物にすみかや食べ物を提供している。

木の有様や種の作り方、色々な動物との関
係、木と木の関係など、面白いことがいっぱい
詰まっている。そして森を破壊するとどんなこ
とが起こるのかも。

西緑地の貴重さを改めて教えてくれる本だ。

（齋藤好子）